

## 【2020年度 松山大学 経済学部 指定校推薦入学試験問題】

### ◆小論文◆ (60分、600字程度)

次の新聞記事は、「お一人様」が増加すると、いっけんそれとは無関係な「環境」に対して影響を及ぼすという仮説について考えたものです。

それでは、あなたは、「お一人様」の増加によって、今後、どのような社会的変化が起こると考えますか。また、その変化は、人々の暮らしを豊かにするでしょうか。あなたの考えとその理由を600字程度で述べなさい。

#### 「お一人様と地球」

出張先のホテルで、独りレストランに入る。店員さんがテーブルに金魚鉢をそっと置いたら？

インドのビジネス都市、ムンバイで起きた話だ。現地のインテル社で働くプラカシュ・マルヤさん。今月上旬「旅先のこんなステキな経験は初めて」とツイートしたところ、「心温まる」「粋な計らい」と話題になった。

独りぼっちの食事を気の毒に思った店員さんが、金魚と「相席」にしてくれた、というわけだ。

こちらの気遣いは「目隠し」である。ファミリーレストランのガストが東京都内の一部店舗に用意したお一人様席。机にちょっとしたついたてがあり、周囲の目を気にしないで食事ができる。

増加するお一人様客への対応は、ガストに限らない。いずれファミレスならぬ「ファミリー一席もあるソロ（単身）レス」が登場する日も来るのかも。

かつて居心地が悪かったお一人様をスマホという武器が強くした。いつも誰かとつながってられるし、ゲームは寂しさを遠ざけてくれる。

でも、お一人様が普通になる社会は果たして良いのか。誰にとって、何にとって、にもよるが、バラバラの暮らしは少なくとも地球の環境には優しくない。

ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンの研究者、ジョー・ウィリアムズさんがイギリスの世帯について調べたところ、一人暮らしは4人以上の世帯の1人平均に比べて、電気を55%、ガスを61%、包装を42%多く消費する。年間に出すゴミの量も60%増した。

ならば、テイクアウトをして自宅の大型冷蔵庫に一時保存し、電子レンジで温めなおしてエアコンの利いた部屋で大型テレビを見ながら食べる、というのではなく、独り外食を選ぶのがせめてものお一人様道ということか。

独りで食事をする人に同情するインドでは、単身世帯は全世帯のわずか4%（2015年）だ。日本は10年に32%と3割を超えた。国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば40年には約40%にまでなるといふ。まさにソロ大国。

かたや、干ばつ、洪水、海面上昇など地球への負荷のために起こる問題は、家族以外の子どもまで一緒に大勢で暮らす貧困国の人々をより苦しめている。

金魚鉢や目隠しよりもっと良いお一人様対応はないものか。例えば消費税はむしろ外食8%（5%?）、テイクアウト10%と逆にした方が環境には理にかなう。

いや、もっとオシャレな方法があるはず。独りのテーブルで今日も考える。